

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病と傷害9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・昼間部	2年	4期	柳澤 雅弘				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
骨、関節の疾患と傷害について、その病態と治療について学びます。さらに骨折や脱臼に伴う神経や血管の損傷についても学びます。							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として患者の疾患を治療できるようになるために、整形外科の診断・治療に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な技術を身につける。						
到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の症状から骨の損傷の程度、関節の脱臼の有無が診断できる。</li> <li>2. 同時に合併症としての神経の障害の有無が診断できる。</li> <li>3. さらにこの時、血管の損傷についても診断できる。</li> </ol>						
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、組織学							
教科書・参考書							
整形外科学 南江堂							
受講上の注意							
授業中分からないことはすぐに質問してください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	90					10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	骨腫瘍			P 89～97	筆記用具		
第2回	軟部腫瘍 非感染性軟部・骨関節疾患			P 97～114	筆記用具		
第3回	全身性の骨・軟部疾患 骨端症 四肢循環障害			P 114～135	筆記用具		
第4回	神経・筋疾患-1			P 136～142	筆記用具		
第5回	神経・筋疾患-2			P 143～148	筆記用具		
第6回	頭部			P 149～157	筆記用具		
第7回	胸部			P 158～162	筆記用具		
第8回	腰部			P 162～169	筆記用具		
第9回	定期試験				筆記用具		
第10回	まとめ 定期試験の解説				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
yanagisawa-t@nihonisen.ac.jp							